

祝★
完走賞!

今年の「ULT 百選・読書マラソン」完走賞受賞者は 1 名！
完走賞の表彰は、卒業時に行われます。
1、2 年生の君たちも、後に続こう!!



コメントカードの原ママです★

完走者のコメントカード? レベル高キョ...
**完走者の
コメントカード
大公開!**
読みやすく、思わず唸るもの多し!

今回の完走者は「ぐっときたセリフ・言葉・シーン」のコメントカードが多かったのですが、チョイスする言葉の目の付け所がとても良かったので、そちらを中心に紹介します! 興味がわいた人は、ぜひ借りてみよう!

No.19 おばあちゃんが、ぼけた

「【ぼけ】の問題はその人の脳や人生のありようからのみ生まれるのではなく、社会における対応が加わることで引き起こされる」

No.43 吉里吉里人

「いずれ夜は来るさ。
明けない夜はなく、
暮れないもない。
世の中とはそうしたものだ。」

No.5 ドラえもん短歌

- ①スネ夫って粋な髪型してるよな
漢字で言うと「司」に似てる
- ②ジャイアン之歌で目覚めたような朝
それでも起きて会社には行く

No.59 ゲド戦記

「欲は太陽まで消す」

No.59 世界の中心で愛を叫んだけもの

「おれは世界中のみんなを愛している」
このセリフを大量殺人犯が言っても
むしろ恐怖を感じましたね。

No.55 河童が覗いたヨーロッパ

「ヨーロッパで日本のモデルガンが人気なのは、弾が出ないから。」

No.72 痴人の愛

惚れた女にはかなわないという事なんだろうが、
読んでてこわくなりました。
どうしてこんなに変わってしまったのか。

No.83 車輪の下

「ああ、われはいたく疲れたり
ああ、われはいたく弱りたり
さいふに一銭だになく
懐中無銭なり。」

No.100 戦争と平和

「われわれの肉体は生命のための機械だ。
肉体というものはそういうふう
にできているのだ。だから肉体の中に生命を
そっとしておいてやって、
みずからまもらせればよいのだ。」

No.93 金閣寺

「私の本心を見抜いて下さい」
↓
「見抜く必要はない。
みんな面上にあらわれている。」
この話の和尚はすごい人
だと思いました。

この言葉を言った理由が鼻風邪の薬の効き目が
無い事なのでナポレオンがすごいのかすごくない
のわからなくなってきました。

新着案内

↓ 小論文や進路の
参考に使える本
がたくさん!

1 月の新着は 60 点。
一部を抜粋で紹介!



タイトル	著者	請求番号
さもし人間：正義をさがす哲学 (新潮新書)	伊藤恭彦著	311.1-1ト
救う男たち：東京消防庁の精鋭ハイパーレスキュー	亀山早苗著	317.7-カメ
国際人のすすめ：世界に通用する日本人になるために	松浦晃一郎著	329.3-マツ
経済学に何が出来るか：文明社会の制度的枠組み (中公新書)	猪木武徳著	331-1ノ
経済大陸アフリカ：資源、食糧問題から開発政策まで (中公新書)	平野克己著	332.4-ヒラ
15歳から社長になれる。：ぼくらの時代の起業入門	家入一真著	335-1エ
東北発の震災論：周辺から広域システムを考える (ちくま新書)	山下祐介著	369.3-ヤマ
ことばの力を育む	大津由紀雄、窪田晴夫著	375.8-オオ
お菓子でたどるフランス史 (岩波ジュニア新書)	池上俊一著	383.835-イケ
スエズ運河を消せ：トリックで戦った男たち	デヴィッド・フィッシャー著	391.3-Fi



↓ 『のぼうの城』の
和田竜最新作が
入りました!

タイトル	著者	請求番号
いまはむかし：竹取異聞	安澄加奈著	913.6-アス
妖怪アパートの幽雅な日常 (講談社文庫) 8	香月日輪著	913.6-コウ
とっぴんぱらりの風太郎	万城目学著	913.6-マキ
ここは退屈屋にきて	山内マリコ著	913.6-ヤマ
村上海賊の娘 上・下	和田竜著	913.6-ワタ
虚構の楽園	ズオン・トゥー・フオン著	929.373-Du
ピーターパンとウェンディ (福音館古典童話シリーズ)	J・M・バリヤー著	933.7-Ba
バイバイ、サマータイム (STAMP BOOKS)	エドワード・ホーガン著	933.7-Ho
渚にて (創元SF文庫)	ネヴィル・シュート著	933.7-Sh
ラヴクラフト全集 5・6 (創元推理文庫)	H・P・ラヴクラフト著	939.37-Lo
レ・コスモミケ (ハヤカワeni文庫)	イタロ・カルヴィーノ著	973-Ca

第 45 回は笹木萌 (メガネ) が担当です。

今回のお題は「絶対捨てられない本」or「無人島に持っていく本」。

うーん、迷う。。。が、『銀河鉄道 999』で! 松本零士の長編漫画!

捨てられない理由は、兄からもらったものだから。と書くと、早逝した兄が残してくれた本...、的な感動話になりそうですが、兄は今でも元気です w 単純に、歳が離れているので、自分が読まなくなった漫画を小学生だった私にくれただけ www 兄妹 (ついでに姉も) で読み込んだ本なので、愛着があります。

『999』は少年・星野鉄郎が、謎の美女・メーテルと共に、宇宙を走る銀河鉄道に乗って旅をする物語。その頃の地球では、お金持ちは永遠に生きられる機械の体になっています。機械化人間は生身の人間を見下して、なんと鉄郎のお母さんは機械伯爵に狩られて、鹿のはく製よろしく、人間のはく製にされて伯爵の家の壁に飾られてしまいます! 残酷! 鉄郎は、自分も機械の体になって機械化人間に復讐することを心に誓います。メーテルに 999 号の終着駅・惑星大アンドロメダでは機械の体を無料でもらえると教えられ、銀河鉄道のパスをもらって旅立つのです。

鉄郎は立ち寄る星々で、異なる価値観や文化の人に会い、対立したり友達になったり、冒険を繰り返します (『キノの旅』みたいな感じ)。無人島で読むのには、退屈しないで済みそうです。ある星には、「世井正雪 (よいししょうせつ)」というひとがたった一人で住んでおり、宇宙最長の傑作小説を生み出そうと執筆し続けています。彼の真似をして、無人島で何か書いてみるのもよいかも。

しかし何と言ってもこの漫画は、「未完」といっていいくらい、謎は謎のままに最終回を迎えるところが無人島にぴったりです。あの伏線はなんだ? と考え続けることができるので。そのためには、『キャプテンハーロック』や『クイーン・エメラルダス』など世界観を共有している漫画や、続編のアニメ・漫画など、関連作品を全部持っていきたいところです w

「無人島本」はよく話題になるけど、今回初めて答えを決めた気がします。綾子さんの答えも知りたいので、次回もぜひ同じお題で!

* 今年度の「ULT 通信」はこれが最終号です